

## 2018年「第8回定時総会」報告

(一社) ニューガラスフォーラム事務局

### The 8<sup>th</sup> General Meeting Report

2018年6月4日(月)、日本ガラス工業センタービル内会議室において、第8回ニューガラスフォーラム定時総会が開催されました。

定時総会では、2017年度事業報告案ならびに収支実績案と2018年度事業計画案ならびに収支予算案が全会一致で承認されました。

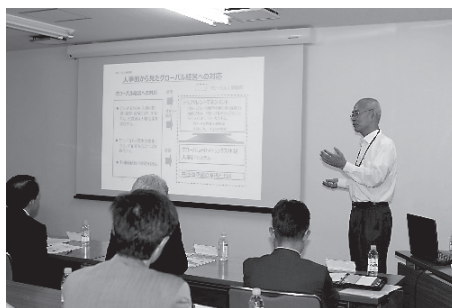


第8回定時総会

また今回は、2年毎の役員改選期にあたり、総会においては、理事および監事、第21回理事会では、会長・副会長・専務理事の体制が承認されました(新しい役員の一覧は本号の別頁に記載してあります)。会長は、2年間就任頂きました日本電気硝子株式会社の有岡様から、HOYA株式会社の鈴木様に交替となりました。

総会終了後、記念講演会が開催され、芝浦工業大学システム理工学部教授の除村健俊様か

ら、「経営とプロジェクトマネジメント」と題した講演がなされました。



ご講演者の除村教授

講演の内容については、機関誌”NEW GLASS”第125号(11月1日刊行予定)に、傍聴記が掲載される予定となっていますが、ご経験に基づいたグローバルな人材やその育成などについてのたいへん興味深いお話を聴くことができました。

講演会終了後、同じ場所で懇親会が開催されました。始めに、有岡雅行ニューガラスフォーラム前会長(日本電気硝子株式会社代表取締役会長)から、「ガラス業界は少々停滞感があるが、ニューガラスといえる材料は多々ある。今秋開催されるICG 2018には、学界を盛り上げるためにも、産業界からの積極的な参加をお願いしたい。」との退任の挨拶がありました。



有岡ニューガラスフォーラム前会長

次に、ご来賓代表として、経済産業省製造産業局素材産業課課長の湯本啓市様から、「ニューガラスフォーラムができて33年目であるが、この間、ニューガラスフォーラムの技術面での貢献があった。今後も産学官連携や若手育成の諸活動、ならびに、AIの観点から、ガラスデータベースの更なる付加価値化にも取り組んで欲しい。経済産業省としても情報発信や意見交換等でサポートしていきたい。」とのご挨拶がありました。



湯本経済産業省素材産業課課長

続いて、鈴木洋ニューガラスフォーラム新会長（HOYA株式会社代表執行役最高経営責任者（CEO））から「脈々と続いてきたニューガラスフォーラム活動の発展にこれからも尽力したい」との挨拶がありました。



鈴木ニューガラスフォーラム新会長

そして、森重樹ニューガラスフォーラム副会長（日本板硝子株式会社取締役代表執行役社長兼CEO）から、“2022年問題”を例に「危機感を持って、ガラス産業への優秀な人材確保が重要との認識を持ちたい」というご挨拶と乾杯のご発声があって、歓談に移りました。



森ニューガラスフォーラム副会長

予定していた1時間余りの時間は瞬間に過ぎ、最後に、新しくニューガラスフォーラム運営委員長に就任された蜂谷洋一様（HOYA株式会社昭島工場長）による中締めでお開きとなりました。



蜂谷ニューガラスフォーラム運営委員長

ニューガラスフォーラムは、新しい役員体制となりましたが、引き続き、総会でご承認頂きました各事業につきまして、会員の方に満足頂けるような活動を、皆様方のご支援、ご指導を頂きながら、着実に進めて参りたいと思います。